

平成30年度 大村看護高等専修学校自己評価結果

教育理念	対象者のニーズにこたえ、社会に貢献する。 対象者の人格を尊重する。 豊かな知性と人間性を持つ。 常に自己啓発する。 以上のことができる看護実践者を育成する。					
教育目的	准看護師に必要な知識および技術を修得させ、地域医療の向上に貢献する豊かな人間性の育成を目的とする。					
教育目標	1. 指示を受けて対象者の状況に合わせた、日常生活の援助と診療の補助を安楽に配慮し、安全に実施できる能力を養う。 2. 対象者を身体的・精神的・社会的側面をもつ統一体として理解する能力を養う。 3. 対象者・家族の考え方や人格を尊重し、倫理に基づいた看護が実践できる基礎的能力を養う。 4. 保健医療チームの中で、准看護師の役割を理解し、他のメンバーと協調できる基盤を養う。 5. 常に良い看護を提供するため、自己啓発する態度を養う。					
努力目標	進級・卒業に向けて努力する。					
数値は、非常に当てはまる・・・4点、かなり当てはまる・・・3点、あまり当てはまらない・・・2点、まったく当てはまらない・・・1点で算出した平均点を示す。						
評価項目	目標	具体的方法	細項目	評価		成果と課題
				前期	年度末	
V 経営・ 管理過程	生徒生活の支援を行う。	生徒が入学後に学習を継続できる支援体制を多角的に整備し、生徒が活用しやすいように学習生活の支援体制を整える。	学習計画表を活用する。	3.0	3.3	欠点を取る生徒の述べ人数は減少し、再試験不合格者が激減している。
			シラバスの活用	3.3	3.3	
			個人面接の実施	3.5	3.5	個人面接からスクールカウンセラー紹介につながり精神的サポートを受けることができている。資格試験対策は生徒の状況に合わせ特別クラスをつくるなどの対策を行い全生徒合格した。
			資格試験合格に向けて取組を行う。	3.1	3.6	
	実習室利用促進	3.3	3.4			
	実際に生徒に活用され、学習の継続を助ける支援体制を整える。	学内実技指導の充実	3.3	3.5	実技テストでは3項目とも合格した生徒数が昨年より増加している。	
	進路に関する支援体制の整備	3.4	3.6	進路は結婚以外の生徒は、それぞれ進学就職が決まった。		
養成所に関する情報提供を行う。	教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行う。	関係者(保護者等)から協力・支援を得られるように、関係者への情報提供を行う。	成績情報を保護者に提供する。年2回以上	3.4	3.7	情報提供は適切にできた。今年度は留年者がなかった。
			年3回以上保護者へ情報提供を行う	3.3	3.6	